

「日本で最も美しい村」連合 星空をテーマにフォーラム開催



村も星空観測の適地であることから、菅野村長（中央）がパネリストとして参加しました

11月13日、イタリア文化会館（東京都千代田区）で、村も加盟する「日本で最も美しい村」連合の公開講座「フォーラム2018」が開催されました。今回は、「イタリアで最も美しい村」協会の活動報告があった他、星空をテーマとする講演やパネルディスカッションが行われ、美しい星空を生かした地域づくりについても情報を交換。パネリストの1人として登壇した菅野村長は、村の星空の美しさや、震災後に「いいいて村」と名付けられた小惑星があることなどを、会場に紹介しました。

郵便局のみまもりサービス 村が契約を締結

10月25日、村は日本郵便と「郵便局のみまもりサービス」利用に関する契約を締結しました。このサービスは、郵便局員が、月1回、高齢者等の自宅を訪問し、体調や食事、暮らしぶりなどを、離れて暮らす家族に報告するものです。村は、サービス利用が、高齢者と家族の安心につながることを期待し、帰村した村民が利用する際に、利用料（月2,500円）を村が負担することとし、日本郵便と契約しました。申し込み等は健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633までお願いします。



締結式は村役場で行われました。協定書を手にする中江紳悟日本郵便東北支社長（右）と菅野村長

までのりの里のこども園 園舎開放で ほっこり交流



そっとやさしく赤ちゃんの手遊び。在園児のお兄さん・お姉さんぶりが頼もしく見えました

村立の認定こども園「までのりの里のこども園」で、就園前の乳幼児と保護者を対象にした園舎開放が行われました。こども園を訪れた親子は、在園児の活動を参観したり、ホールや園庭の遊具で遊んだりして、思い思いに園舎をめぐるしました。また、後半は、わんぱくホールに集まり、在園児と一緒に歌や手遊び、体操をして交流。先生方による人形劇も楽しみました。小さなお友達と笑顔で交流した在園児は「また遊びに来てください」とあいさつ。和やかなひとときとなりました。

飯館中学校の教育活動 県教育委員会から表彰状

11月1日、とうほうみんなの文化センター（福島県文化センター）で、「平成30年度教育・文化関係表彰式」が行われ、飯館中学校が、表彰を受けました。和田節子校長は、翌2日に村役場を訪れ、「地域の特性を生かした創意あふれる教育活動」をたたえる表彰状を、菅野村長、中井田教育長らに披露しました。飯館中学校は、避難の中でスタートした「ふるさと学習」で、平成28年には博報賞・文部科学大臣奨励賞を受賞するなど、数々の取り組みで注目を集めています。



表彰状と表彰盾を持参し、表彰について報告する和田校長(中央)と、菅野村長(右)、中井田教育長(左)

吉川市「市民まつり」に出展 村への応援を実感



吉川市イメージキャラクターなまりんと交流するイイタネちゃん。吉川市の子供達とたくさん遊んで来ました



11月18日、埼玉県吉川市の第23回「吉川市民まつり」に村も出展し、村職員と村公式キャラクター・イイタネちゃんが、吉川市の皆さんに村をPRしました。村は今年度、吉川市から応援職員の派遣を受けており、今回の出展も、村の健康福祉課で業務にあたる応援職員・細谷勇介さん(上の写真右端)の協力により実現したものです。当日は中原恵人市長(下の写真右端)も村のブースを訪れて、エールを送ってくださいました。

村のメッセージ付年賀はがき 販売開始のセレモニー

11月1日、郵便局の年賀はがきの発売日に合わせて、村のメッセージ付年賀はがきも販売が開始され、福島中央郵便局で行われた販売開始セレモニーに、菅野村長と村公式キャラクター・イイタネちゃんが招かれました。村の年賀はがき制作は2年連続で、今年のテーマは「挑戦を楽しもう」。感謝を力に挑戦を続ける村と村民の姿勢を表現しています。早速村のはがきを購入した福島市の男性は「昨年も飯館村のはがきで年賀状を出した。これからも応援したい」と話していました。



菅野村長（写真中央）とイイタネちゃんが郵便局の代表らとテープカットを行いました